

8. 歯

(1) 歯の本数

問28 現在、あなたの歯は何本ありますか。親知らず・さし歯も含め、全て数えます。
 ※永久歯の本数は28本です。(親知らずが4本ある場合は32本となります)
 ※さし歯とは、残っている歯根の上に人工的に歯を作っているものをいいます。また、インプラントは数に含めません。

全体では、「28本以上」が45.8%と最も高く、次いで「20本～27本」が32.9%、「10本～19本」が8.2%となっている。「28本以上」と「20本～27本」を合わせた《20本以上》は78.7%となっている。

(図8-1-1)

性別にみると、《20本以上》は女性(79.9%)が男性(77.1%)より2.8ポイント高くなっている。

(図8-1-1)

性・年齢別にみると、男女ともに15～59歳では「28本以上」が最も高く、60歳以上では「20本～27本」が最も高くなっている。70歳以上における《20本以上》の割合は、男女ともに5割を超えている。また、80歳以上の《20本以上》は男性(52.8%)が女性(38.3%)を14.5ポイント上回っている。

(図8-1-2)

図8-1-1 歯の本数(全体/性別)

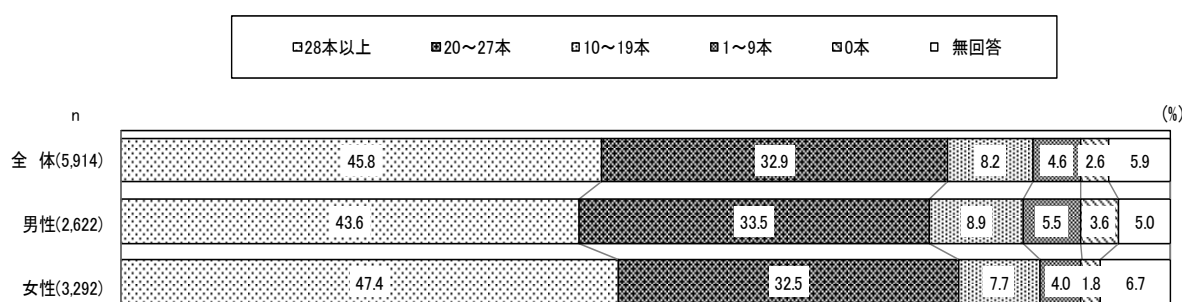
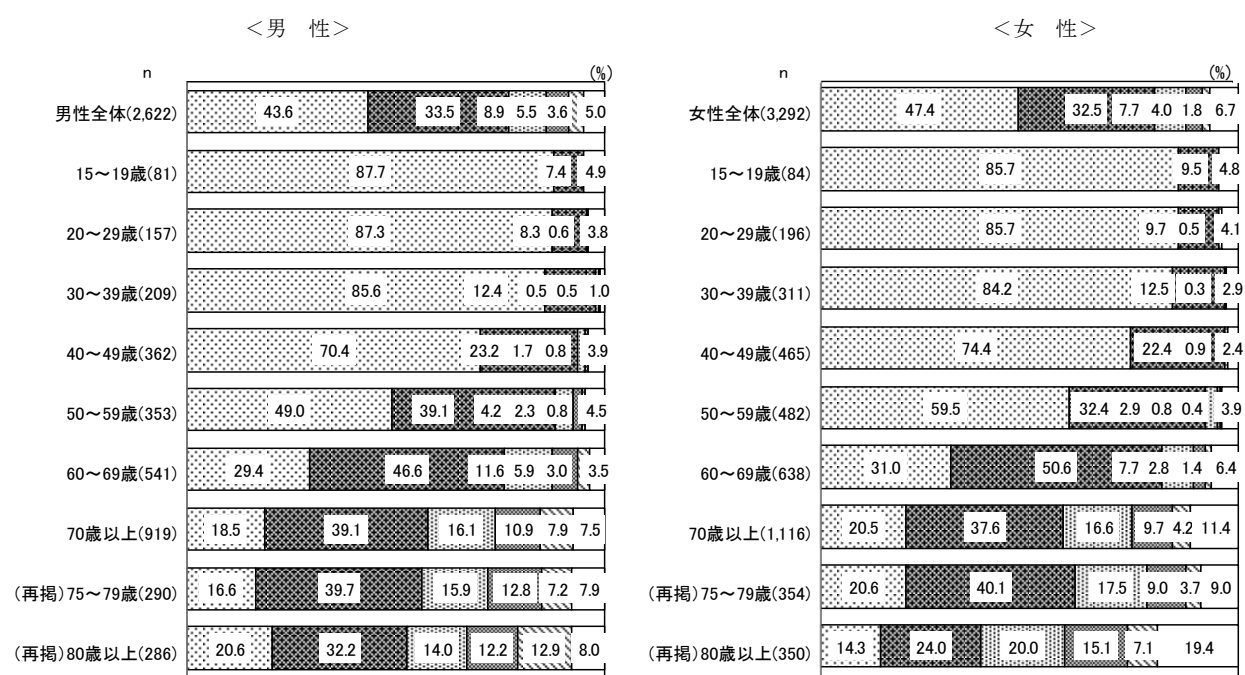


図8-1-2 歯の本数(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「28本以上」は令和3年度よりやや減少している。(図8-1-3)

性別で過去の調査と比較すると、「28本以上」は令和3年度と比べて、男性は減少し、女性は同程度となっている。(図8-1-4)

図8-1-3 歯の本数（過去の調査との比較）

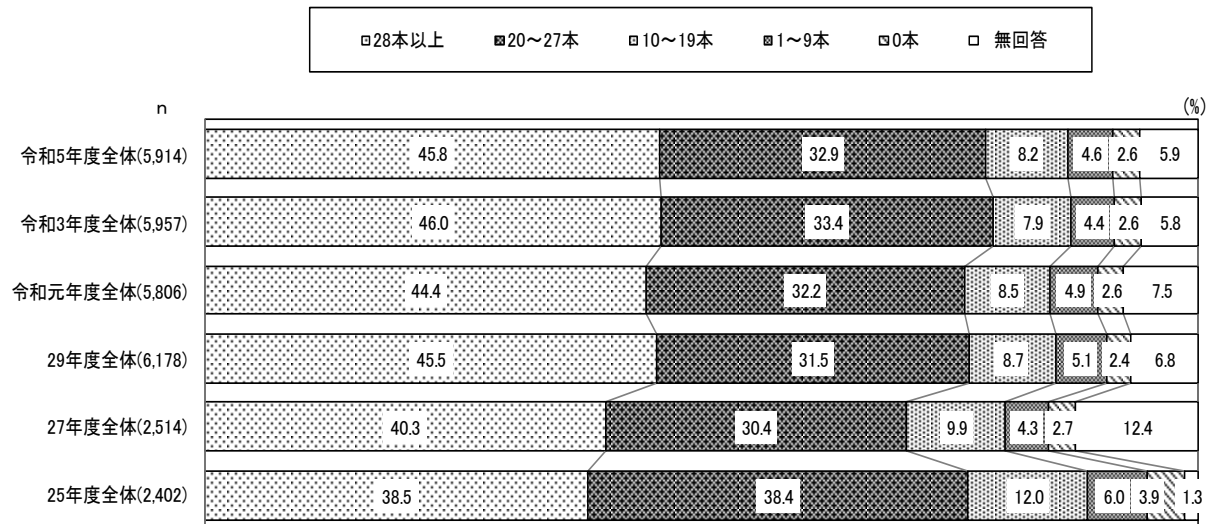
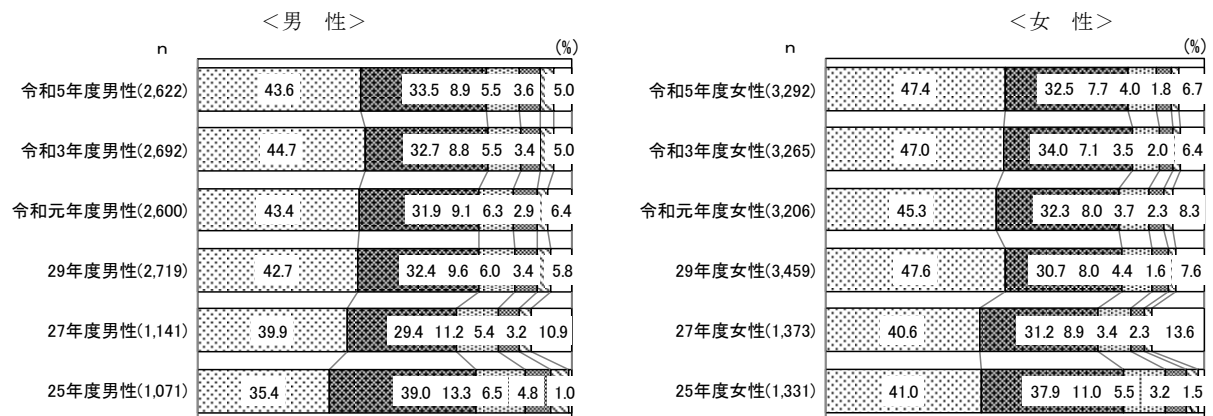


図8-1-4 歯の本数（過去の調査との比較・性別）



※平成29年度より、「※永久歯の本数は28本です。（親知らずが4本ある場合は32本となります）」の説明を追加。

(2) 最近1年間の歯の健康診査の受診状況

問29 あなたは、この1年間に歯の健康診査を受けていますか。(〇はひとつ)

全体では、「はい」が61.7%、「いいえ」が37.3%となっている。

性別にみると、「はい」は女性(65.0%)が男性(57.6%)より7.4ポイント高くなっている。

(図8-2-1)

性・年齢別にみると、「はい」は、男女ともに15~19歳で最も高く、男性が74.1%、女性が79.8%となっている。一方、男性は30~39歳が51.7%、女性が20~29歳が57.1%で最も低くなっている。

(図8-2-2)

図8-2-1 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(全体/性別)

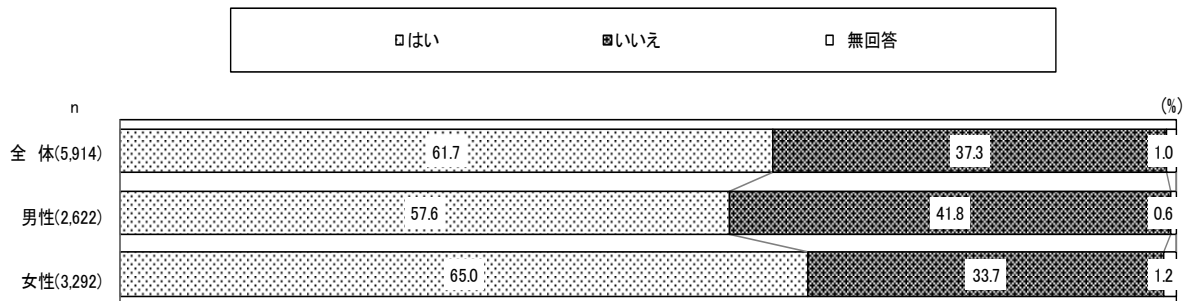
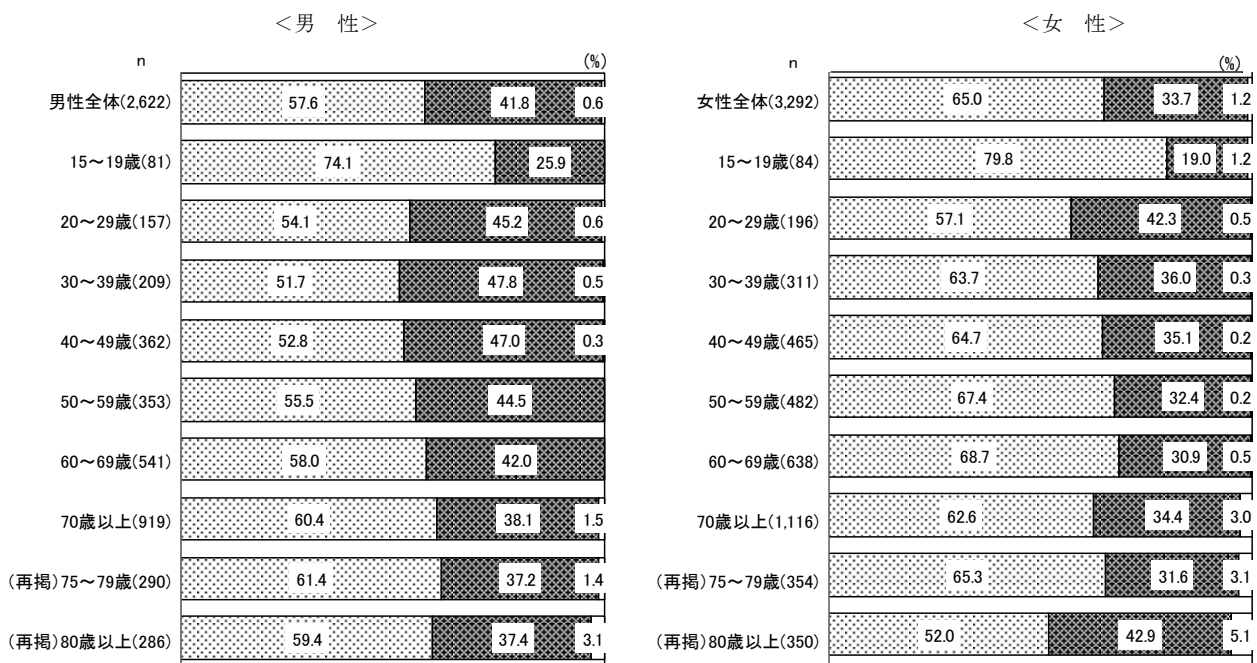


図8-2-2 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「はい」(61.7%)は、令和3年度(57.0%)より4.7ポイント増加している。(図8-2-3)

性別で過去の調査と比較すると、「はい」は男女ともに令和3年度より増加している。

(図8-2-4)

※令和3年度のみ、新型コロナウイルスの影響により受診していない人を、グラフ内のカッコ書きで記載。

図8-2-3 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(過去の調査との比較)

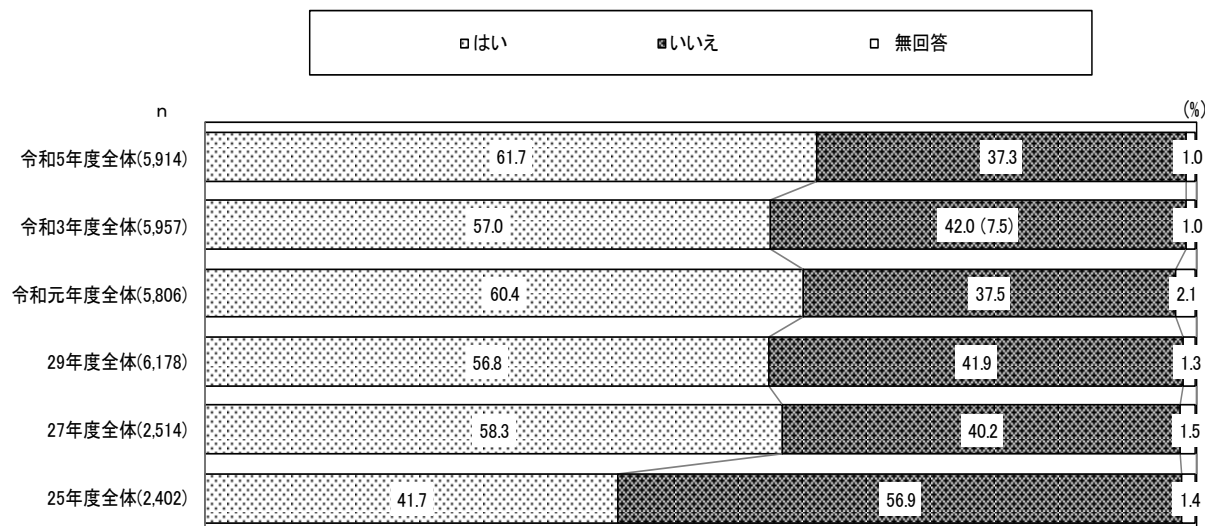
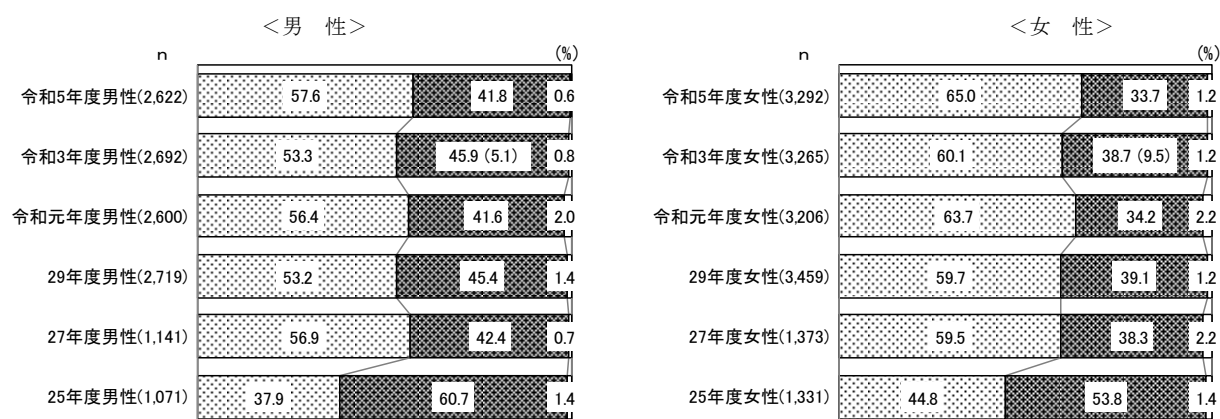


図8-2-4 最近1年間の歯の健康診査の受診状況(過去の調査との比較・性別)



(3) 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況

問30 あなたは、この1年間に歯石除去や歯面清掃を受けていますか。(○はひとつ)

全体では、「はい」が57.4%、「いいえ」が41.6%となっている。(図8-3-1)

性別にみると、「はい」は女性(62.1%)が男性(51.6%)より10.5ポイント高くなっている。

(図8-3-1)

性・年齢別にみると、「はい」は、男性は70歳以上が55.6%、女性は50~59歳が66.8%で最も高くなっている。一方、男性の40~49歳では45.9%と低くなっている。(図8-3-2)

図8-3-1 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(全体/性別)

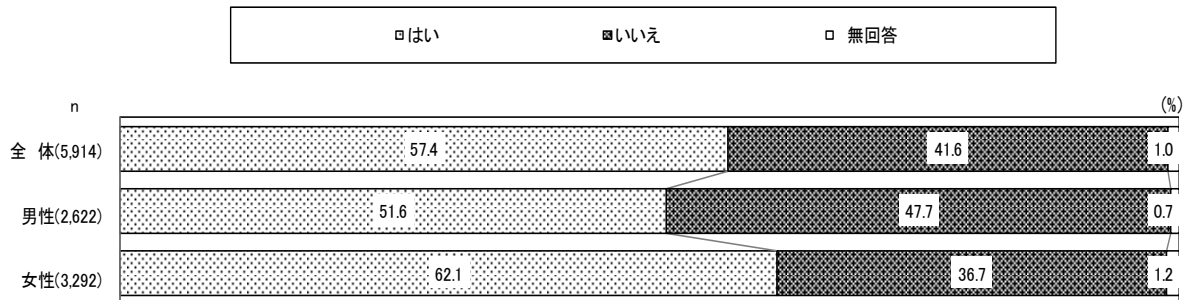
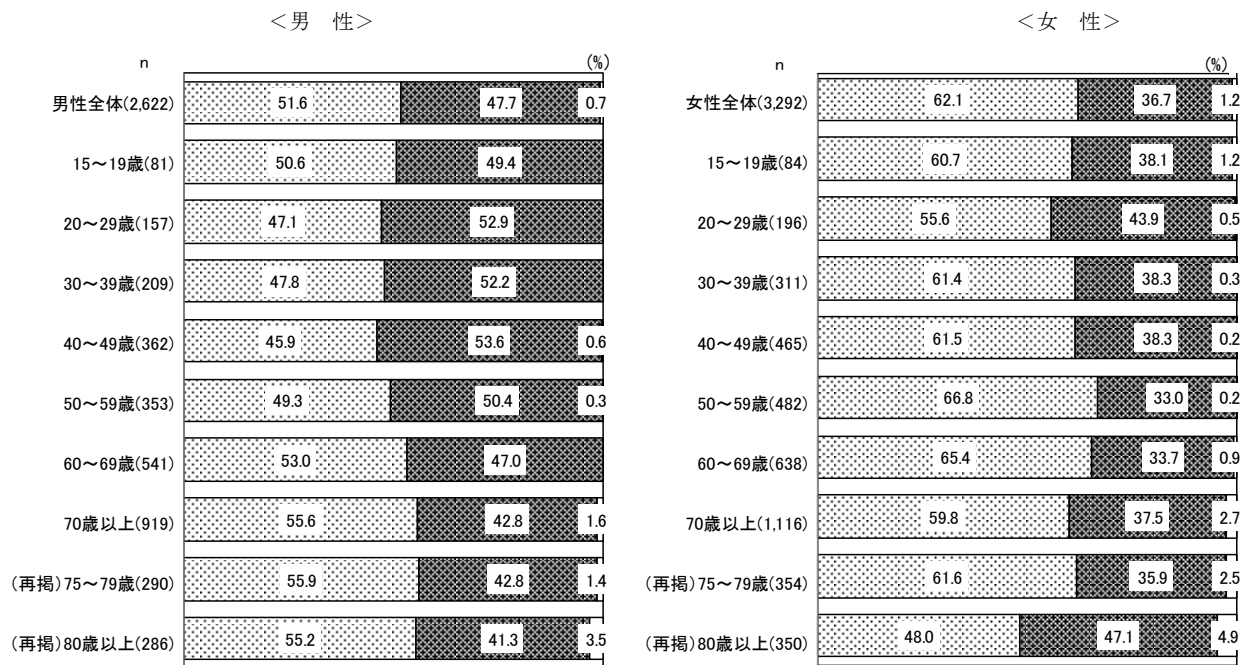


図8-3-2 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「はい」(57.4%)は、令和3年度(52.3%)より5.1ポイント増加している。(図8-3-3)

性別で過去の調査と比較すると、「はい」は男女ともに令和3年度より増加している。

(図8-3-4)

図8-3-3 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(過去の調査との比較)

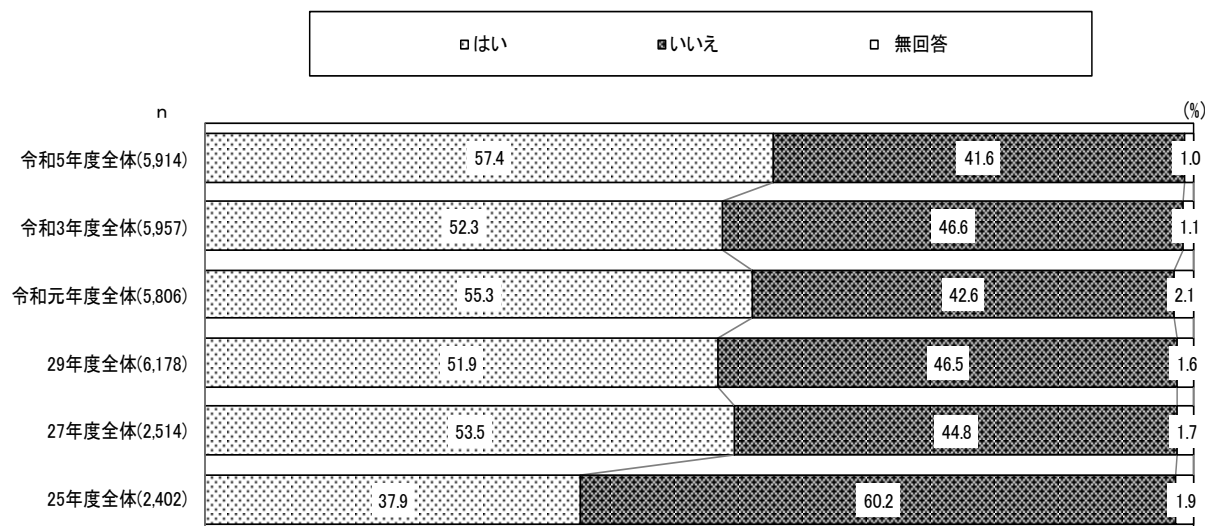
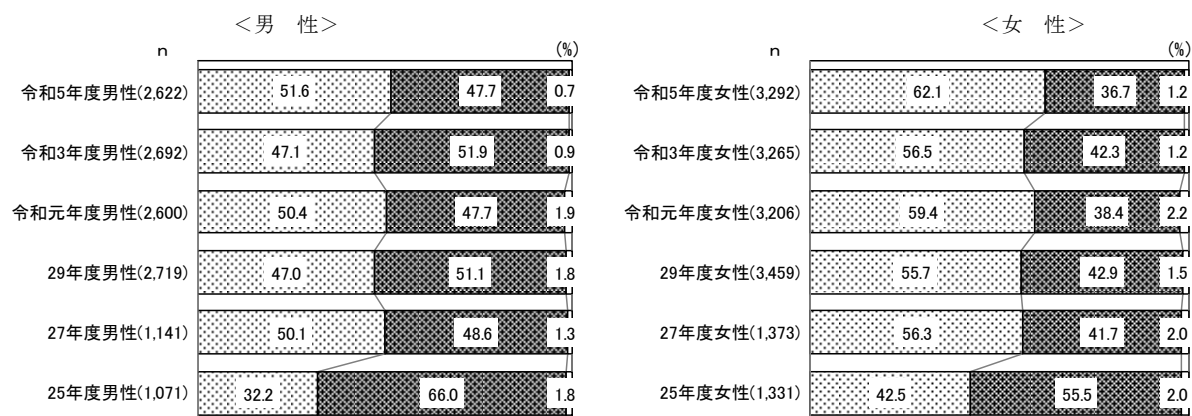


図8-3-4 最近1年間の歯石除去や歯面清掃の実施状況(過去の調査との比較・性別)



(4) 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度

問31 あなたは、歯ブラシ以外の器具（デンタルフロス、歯間ブラシ等）を使って、歯の手入れをしていますか。（〇はひとつ）

全体では、「週に5日以上使っている」が30.8%と最も高く、次いで「使っていない」が29.9%、「ほとんど使わない（月に1日以上）」が16.6%となっている。（図8-4-1）

性別にみると、最も男女の差がみられた「使っていない」では、男性（39.5%）が女性（22.2%）より17.3ポイント高くなっている。（図8-4-1）

性・年齢別にみると、男性ではいずれの年齢も「使っていない」が最も高くなっている。女性では15～39歳は「使っていない」、40歳以上は「週に5日以上使っている」が最も高くなっている。

（図8-4-2）

図8-4-1 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（全体／性別）

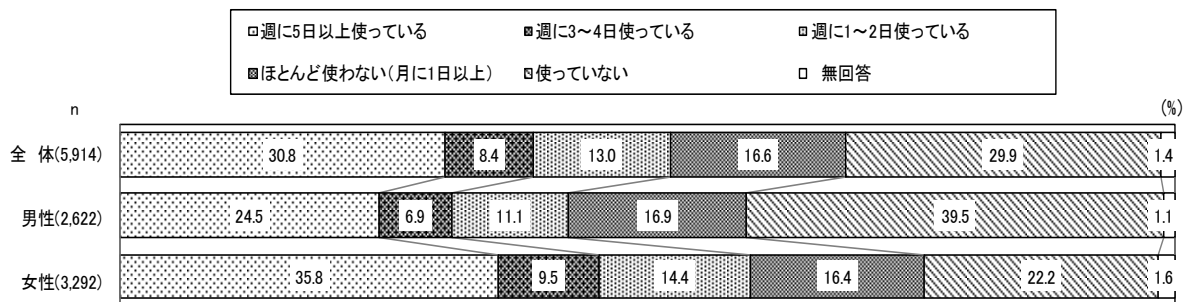
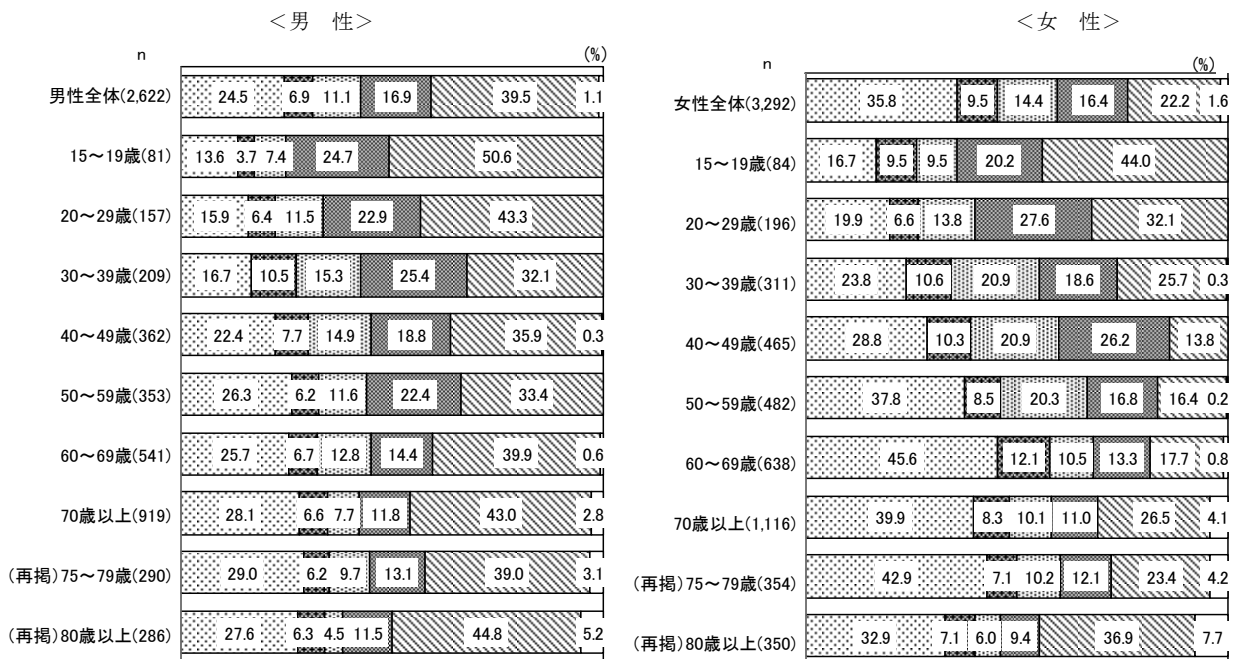


図8-4-2 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「使っていない」(29.9%)は平成27年度以降減少している。

(図8-4-3)

性別で過去の調査と比較すると、「使っていない」は男女ともに平成27年度以降減少している。

(図8-4-4)

図8-4-3 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度(過去の調査との比較)

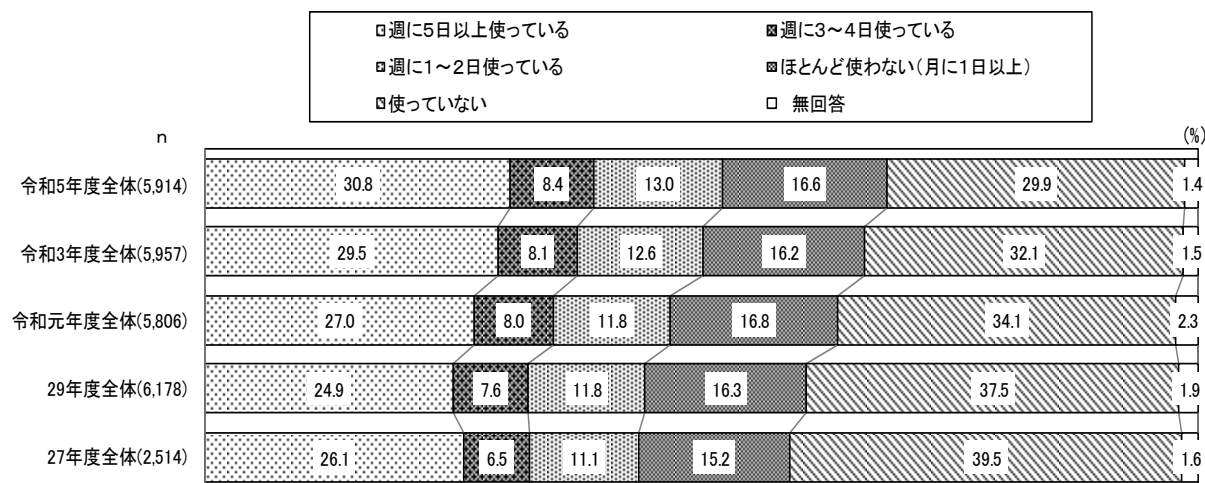
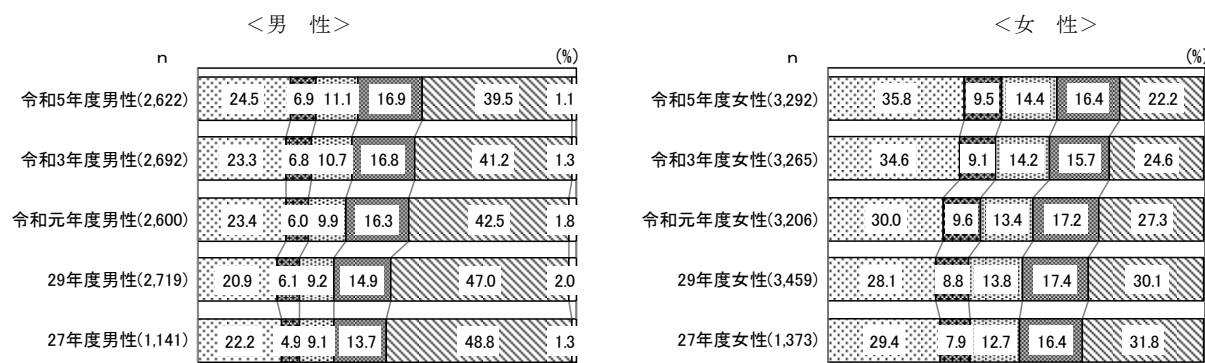


図8-4-4 歯ブラシ以外の器具による手入れの頻度(過去の調査との比較・性別)



※平成27年度調査では「ほぼ毎日使っている」を、平成29年度より「週に5日以上使っている」に変更した。

※平成25年度調査では、この質問をしていない。

(5) 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況

問32 あなたは、歯ぐきから出血したり、歯がぐらついたりしていますか。(○はひとつ)

全体では、「そのような症状はない」が62.8%と最も高く、次いで「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」が25.6%、「歯がぐらついている」が6.0%となっている。(図8-5-1)

性別にみると、「そのような症状はない」では、女性(64.3%)が男性(61.0%)より3.3ポイント高くなっている。(図8-5-1)

性・年齢別にみると、「そのような症状はない」は、男性では30~39歳(54.1%)、女性では30~39歳と40~49歳(57.6%)で最も低くなっている。(図8-5-2)

図8-5-1 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(全体/性別)

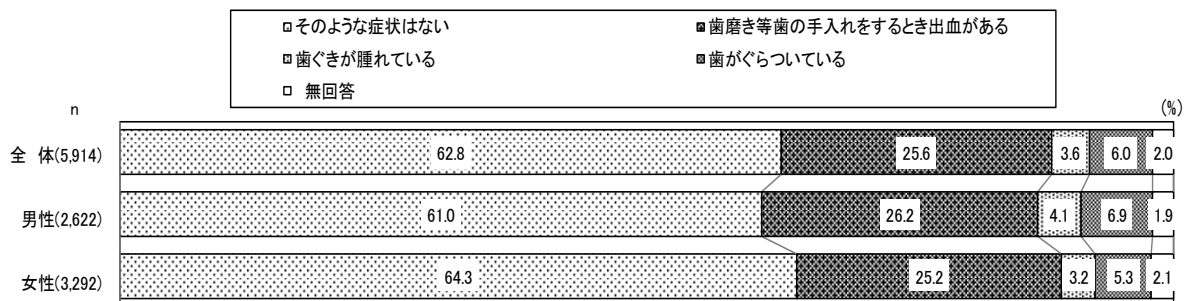
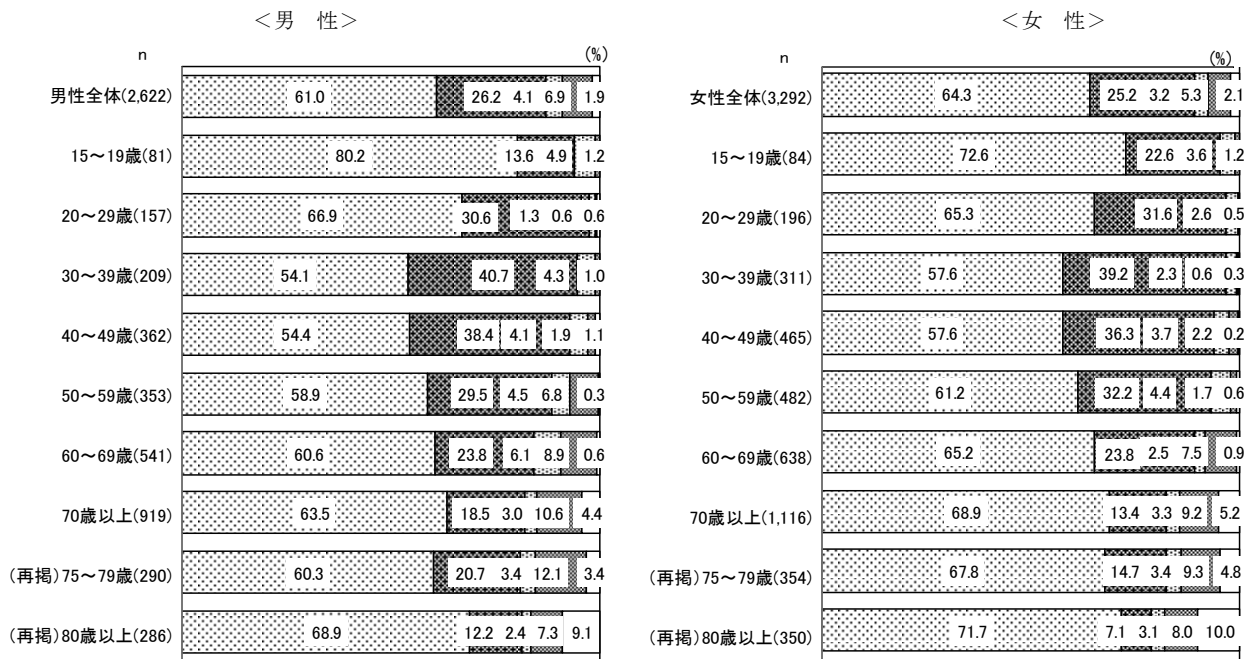


図8-5-2 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」(25.6%)が、令和3年度(27.6%)より2.0ポイント減少している。(図8-5-3)

性別で過去の調査と比較すると、「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」が男女ともに令和3年度より減少している。(図8-5-4)

図8-5-3 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(過去の調査との比較)

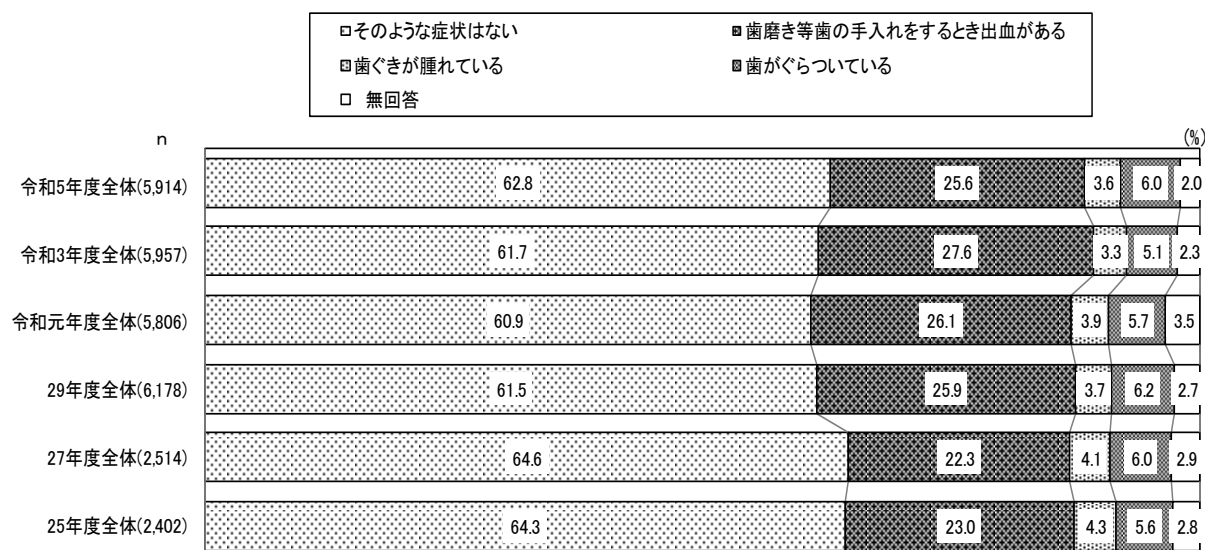
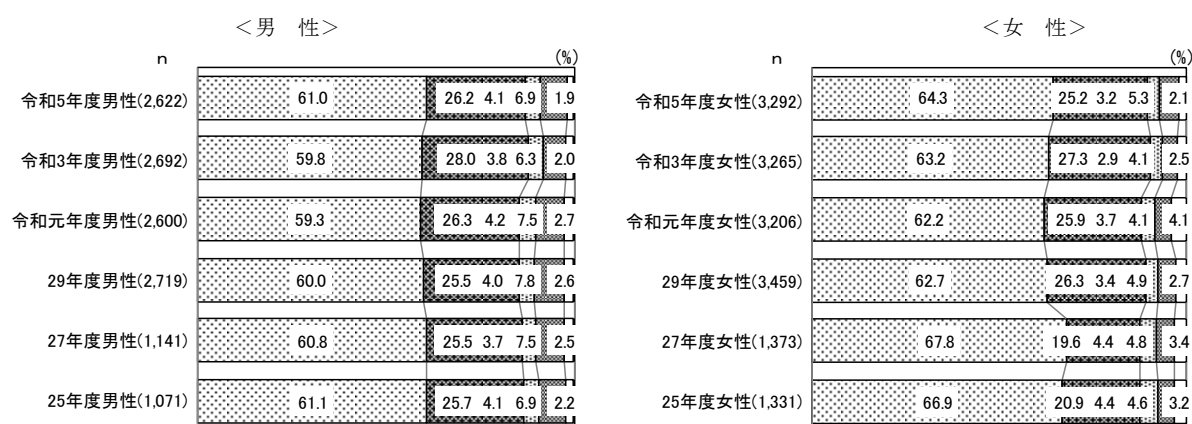


図8-5-4 歯ぐきからの出血や歯のぐらつきの状況(過去の調査との比較・性別)



※平成25年度・平成27年度調査では「歯を磨くとき、出血がある」を、平成29年度より「歯磨き等歯の手入れをするとき出血がある」に変更した。

(6) 口の中を観察する習慣

問33 あなたは、自分の口の中（歯や歯肉の状態）を観察する習慣がありますか。（○はひとつ）

全体では、「ない」が29.1%と最も高く、次いで「毎日ある」が27.5%、「週に1回程度ある」が26.7%となっている。（図8-6-1）

性別にみると、最も男女の差がみられた「ない」では、男性（37.1%）が女性（22.7%）より14.4ポイント高くなっている。（図8-6-1）

性・年齢別にみると、男性ではいずれの年齢も「ない」が最も高くなっている。女性では40歳以上で「毎日ある」が最も高く、いずれも3割を超えている。（図8-6-2）

図8-6-1 口の中を観察する習慣（全体／性別）

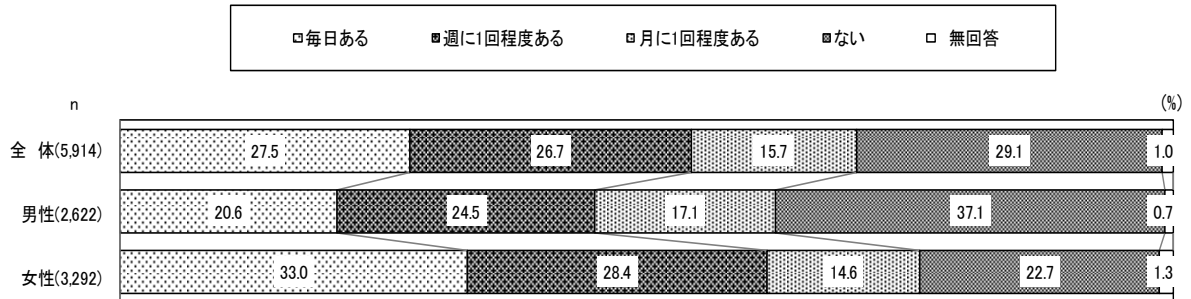
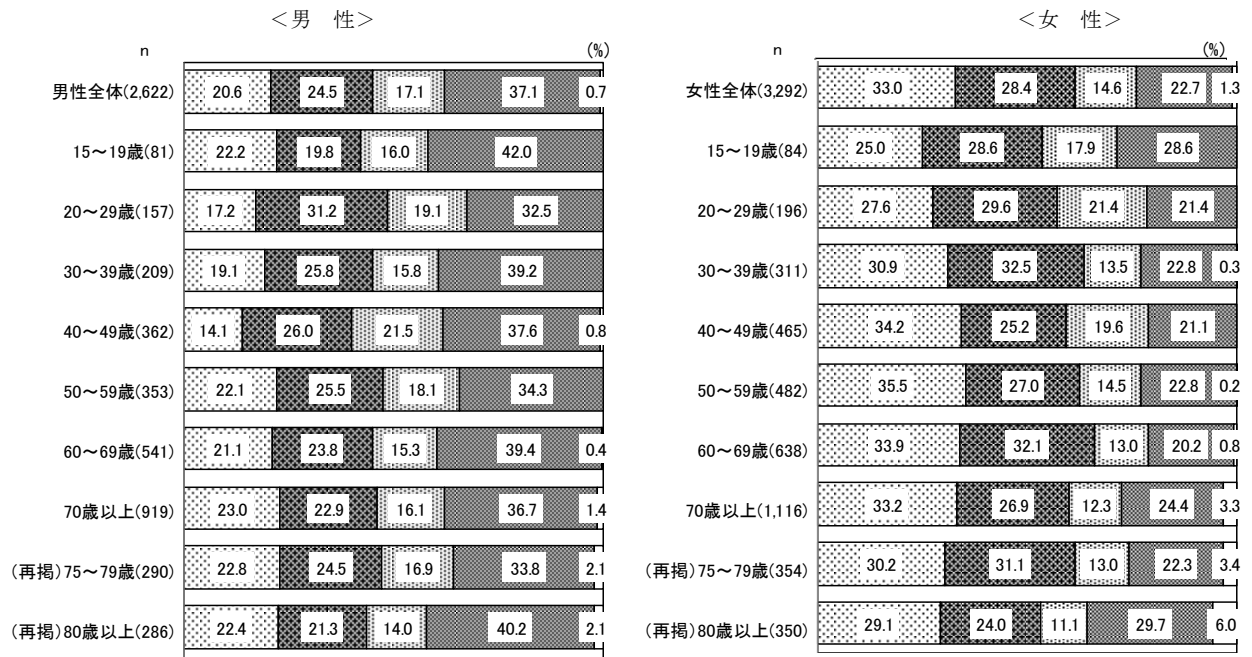


図8-6-2 口の中を観察する習慣（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「毎日ある」(27.5%)は、令和3年度(26.8%)と同程度であった。

(図8-6-3)

性別で過去の調査と比較すると、「毎日ある」は、女性では平成29年度以降増加している。

(図8-6-4)

図8-6-3 口の中を観察する習慣(過去の調査との比較)

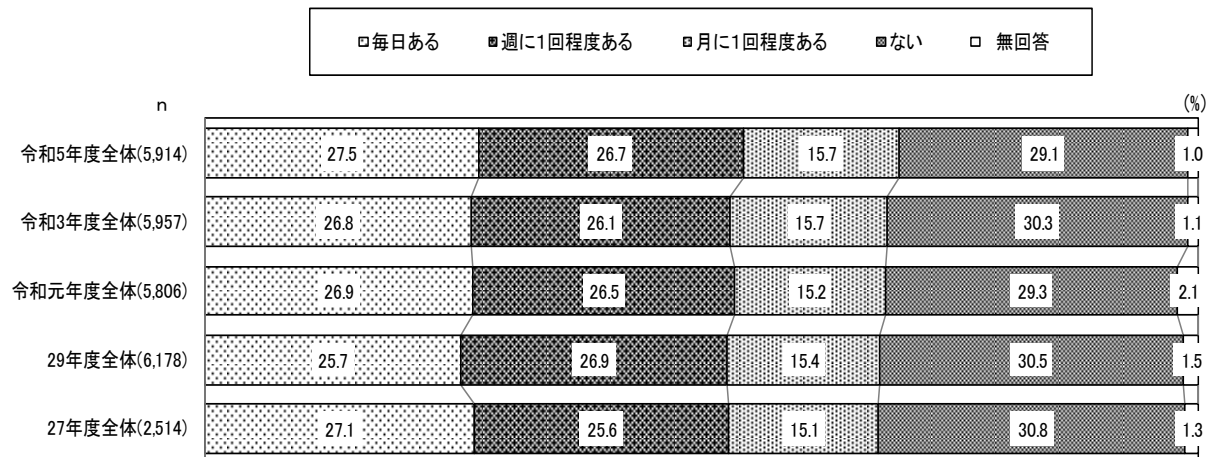
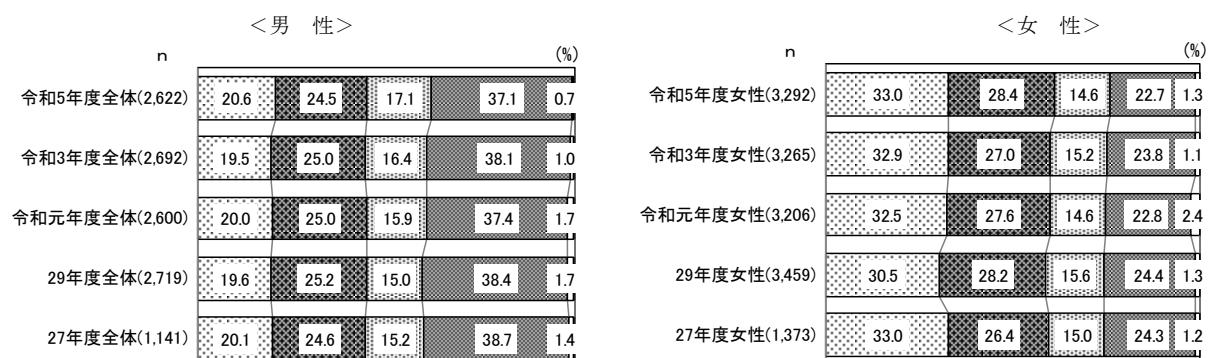


図8-6-4 口の中を観察する習慣(過去の調査との比較・性別)



※平成27年度調査から選択肢を変更している。

(7) ものをかんで食べることができるか

問34 あなたは、ものをかんで食べるとき、どのような状態ですか。(○はひとつ)

全体では、「何でもかんで食べることができる」が77.3%と最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が18.6%、「かめない食べ物が多い」が1.9%となっている。(図8-7-1)

性別にみると、「何でもかんで食べることができる」は女性(78.6%)が男性(75.7%)より2.9ポイント高くなっている。(図8-7-1)

性・年齢別にみると、「何でもかんで食べることができる」は、男女ともに60～69歳で50～59歳と比べ、11ポイント以上減少している。(図8-7-2)

図8-7-1 ものをかんで食べることができるか(全体/性別)

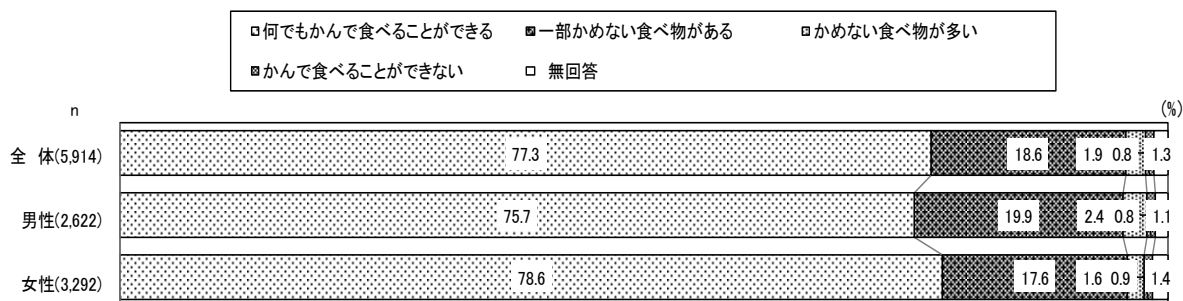
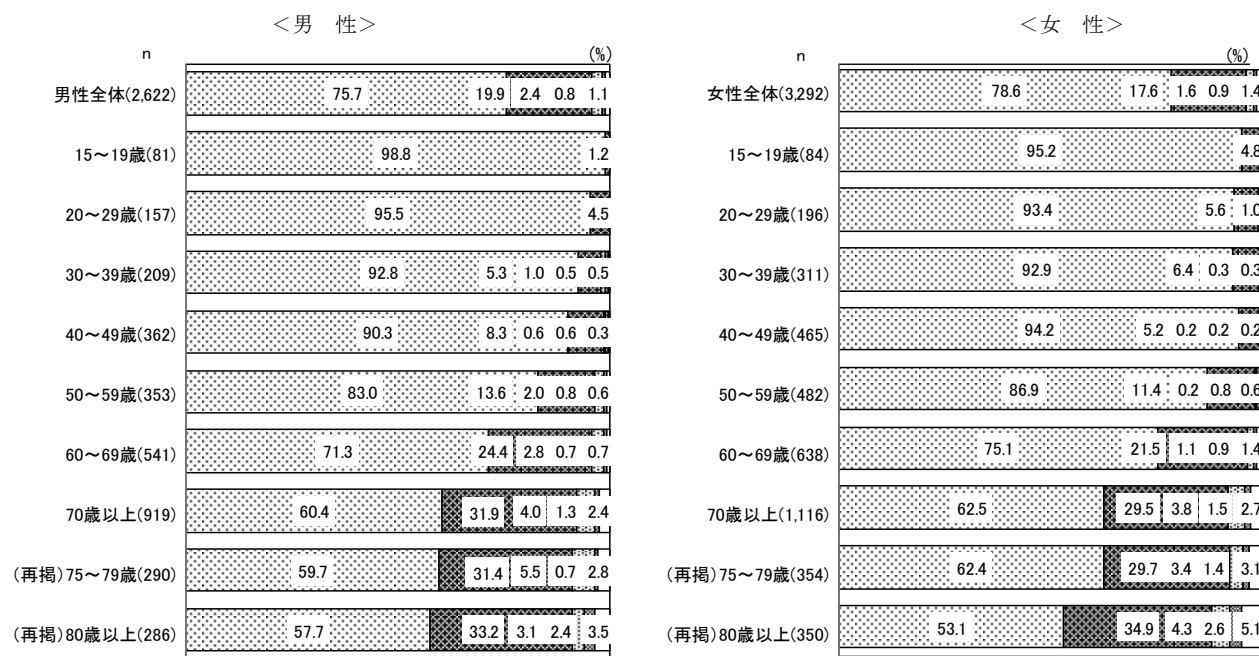


図8-7-2 ものをかんで食べることができるか(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、「何でもかんで食べることができる」(77.3%)は、令和3年度(76.9%)と同程度であった。(図8-7-3)

性別で過去の調査と比較すると、「何でもかんで食べることができる」は男女ともに令和3年度と同程度であった。(図8-7-4)

図8-7-3 ものをかんで食べることができるか（過去の調査との比較）

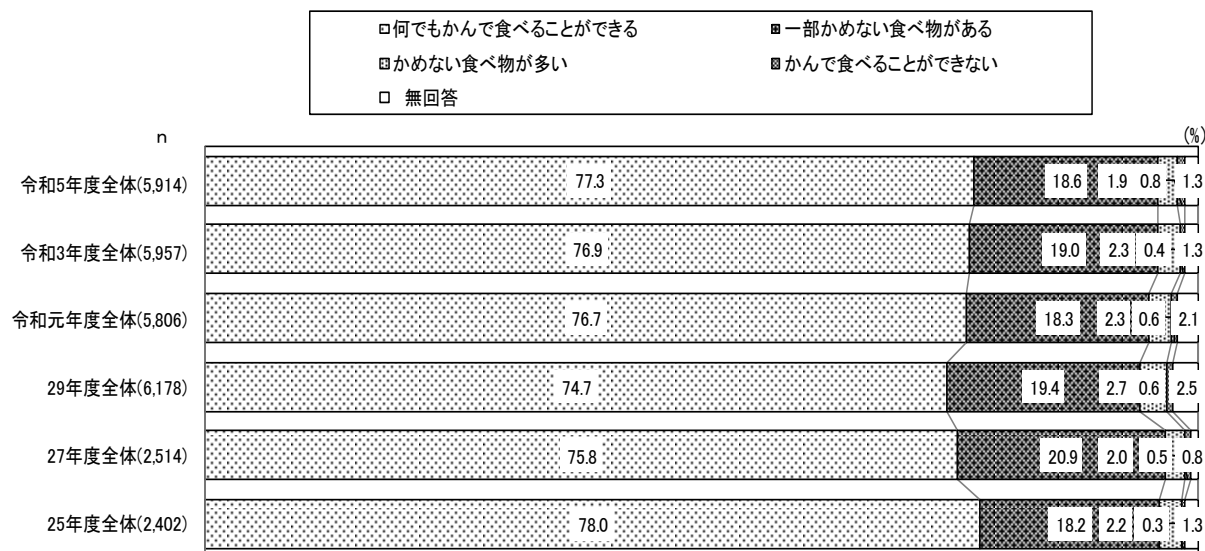
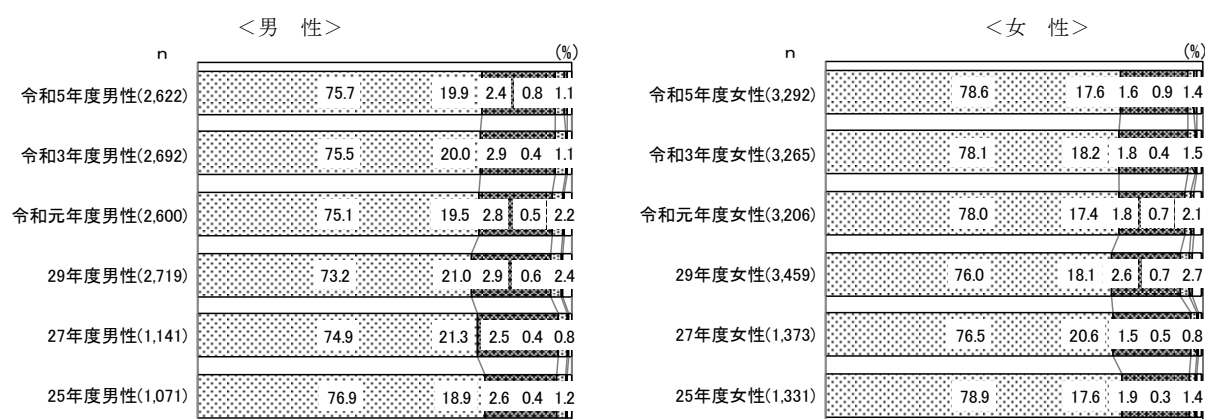


図8-7-4 ものをかんで食べることができるか（過去の調査との比較・性別）



(8) ふだんゆっくりよくかんで食べているか

(問34で「何でもかんで食べることができる」、「一部かめない食べ物がある」、「かめない食べ物が多い」とお答えの方に)
 問34-1 あなたは、ふだんゆっくりよくかんで食べていますか。(○はひとつ)

全体では、「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」が38.1%、「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べていない」が39.0%、「ゆっくりよくかんで食べていない」が11.4%となっている。「ゆっくりよくかんで食べている」と「どちらかといえばゆっくりよくかんで食べている」を合わせた《よくかんで食べている》は47.8%となっている。(図8-8-1)

性別にみると、「ゆっくりよくかんで食べていない」は、男性(15.3%)が女性(8.3%)より7.0ポイント高くなっている。(図8-8-1)

性・年齢別にみると、《よくかんで食べている》は、男性は70歳以上(55.5%)、女性は15~19歳(64.3%)が最も高くなっている。一方、男性では40~49歳(29.5%)、女性では30~39歳(43.5%)で最も低くなっている。(図8-8-2)

図8-8-1 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(全体/性別)

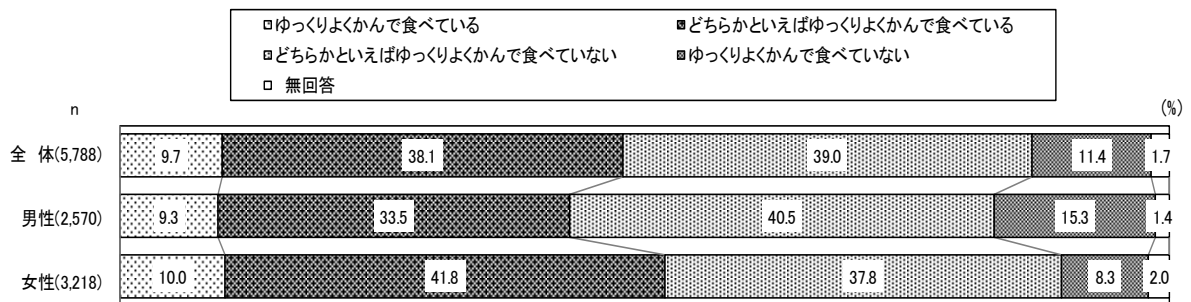
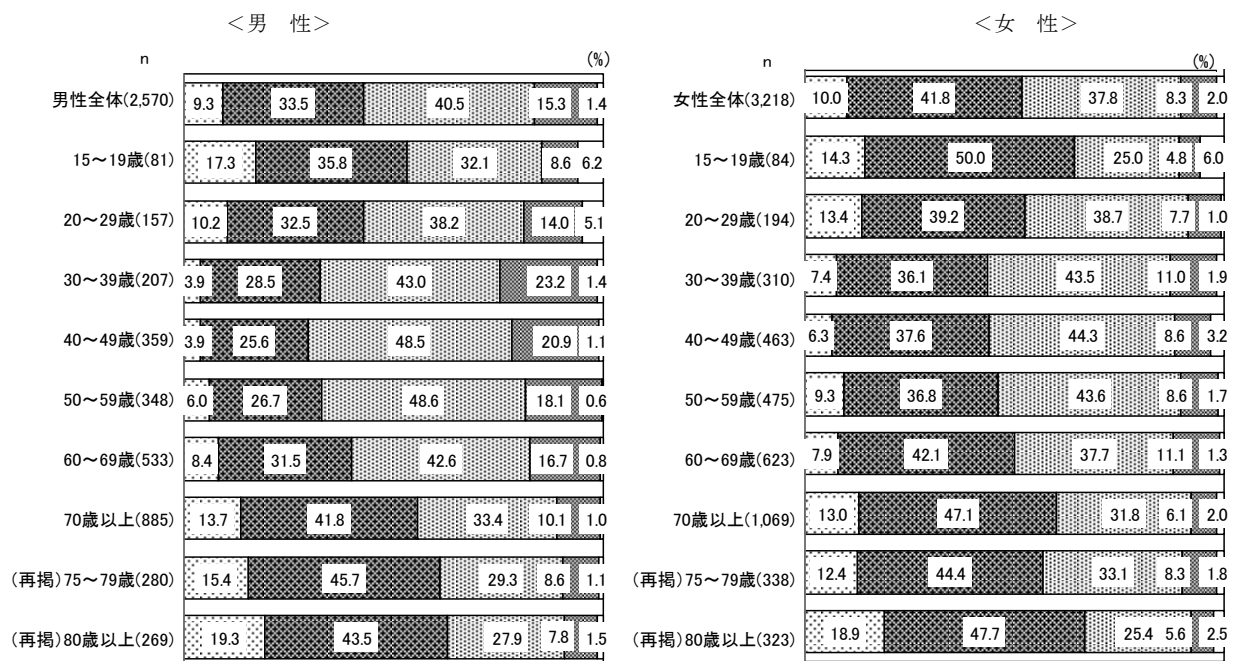


図8-8-2 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(性・年齢別)



過去の調査と比較すると、《よくかんで食べている》(47.8%)は、令和3年度(48.0%)と同程度であった。(図8-8-3)

性別で過去の調査と比較すると、《よくかんで食べている》は、女性では平成29年度以降、増加している。(図8-8-4)

図8-8-3 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(過去の調査との比較)

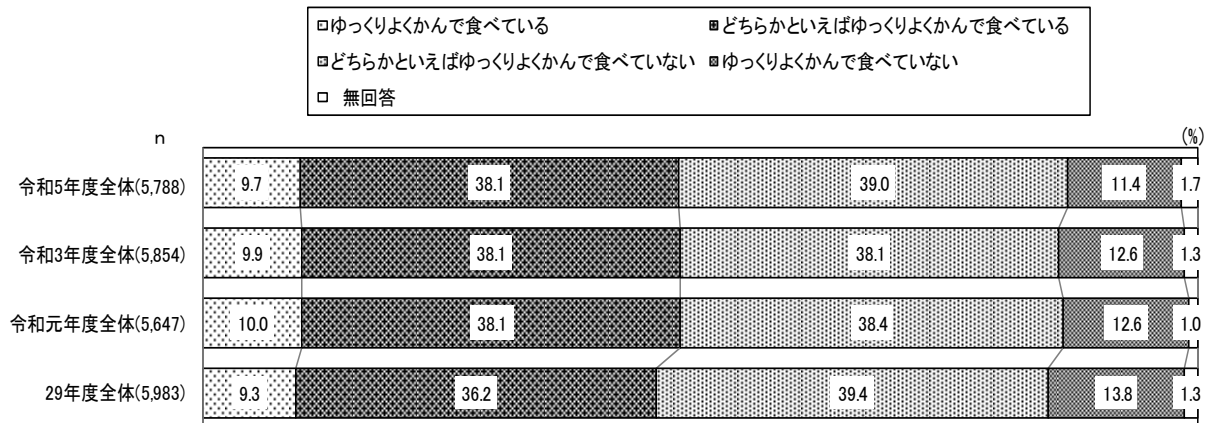
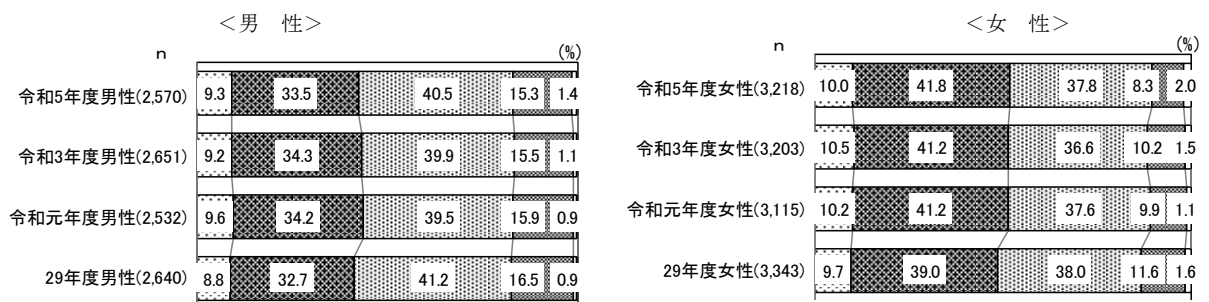


図8-8-4 ふだんゆっくりよくかんで食べているか(過去の調査との比較・性別)



※平成25年度・平成27年度調査では、この質問をしていない。